

肝炎サポートと出張肝臓病教室等の利点を生かした就労支援に関する研究

分担研究者：池田 房雄 岡山大学病院消化器内科・助教

研究要旨

企業等へ出張し開催する肝臓病教室が肝臓病に対する偏見や誤解の解決に役立つと大多数の受講者が回答した平成 27 年度の就労支援に関する有用性の検証結果を踏まえ、平成 28 年度は出張肝臓病教室受講者の希望者に同時に肝炎ウイルス検査を受検してもらい、その検査陽性者が肝臓専門機関を受診受療できる職場環境づくりに出張肝臓病教室が有用か検証した。肝臓病教室と同時の肝炎ウイルス検査受検率は高く、検査陽性者の肝炎専門機関受診率も高いので、就労支援の有用な方策の一つと考えられる。

笠原郁子・岡山大学病院医事課
難波志穂子・岡山大学病院新医療研
究開発センター助教

A. 研究目的

当院肝炎サポートチームが職能団体、企業に出向き肝臓病理解を目的とした啓発活動（出張肝臓病教室）をおこなっている。出張肝臓病教室受講者のうち、希望者に同時に肝炎ウイルス検査を受検してもらい、その検査陽性者が肝臓専門機関を受診受療できる職場環境づくりに出張肝臓病教室が有用か検証する。

B. 研究方法

平成28年4月～平成29年2月に開催した出張肝臓病教室受講者のうち希望者に同時に肝炎ウイルス検査を受検してもらった。その検査陽性者には当院肝炎サポートチームから電話連絡し、肝

臓専門機関受診のサポートを行なった。肝臓専門機関での受診結果やその後の受療についても集計を行った。

（倫理面への配慮）

当該施設のIRBの承認が得られている。

C. 研究結果

平成28年4月～平成29年2月に出張肝臓病教室を24か所で開催し742人が受講した。出張肝臓病教室と同時に肝炎ウイルス検査を開催したのは17か所で受講した531人中受検者は462人（87%）と多く、HCV抗体陽性3例、HBs抗原陽性3例が発見された。その後の検査陽性者への追跡調査で、全例が肝炎専門機関を受診していた。HCV抗体陽性者で抗ウイルス療法を開始した1例では出張肝臓病教室で職場の上司や同僚と肝炎の最新知識を共有できたことで治療に踏み切ることができたと回答していた。

D. 考察

出張肝臓病教室と同時開催の肝炎ウイルス検査の受検率は高く、また、検査陽性者の肝炎専門機関受診率も高いので、職域での潜在的な肝炎患者を見つけ、肝臓専門機関の受診や受療に有用な方策の一つと考えられる。

E. 結論

出張肝臓病教室で肝臓病啓発を行うことで、肝臓病教室と同時に実施した肝炎ウイルス検査の受検率は高く、検査陽性者の肝炎専門機関受診率も高いので、就労支援の有用な方策の一つと考えられる。

F. 健康危険情報

特記すべき事なし

G. 研究発表

1. 論文発表

難波志穂子、池田房雄、下村泰之、犬山奈穂美、大久保進之介、槇田崇志、長谷川祐子、岩井賢司、細羽章子、三浦留美、藤井洋輔、安中哲也、竹内康人、和田望、桑木健志、大西秀樹、中村進一郎、白羽英則、高木章乃夫、岡田裕之、職域での出張肝臓病教室と同時開催の肝炎検診の意義 肝臓、2017

2. 学会発表

難波志穂子、池田房雄、笠原郁子ほか、第51回日本肝臓学会総会、大型商業施設での肝炎検診の有用

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得なし
2. 実用新案登録なし
3. その他なし